番線印

法政大学出版局◉新刊のご案内

2025年2月7日

通巻 357-2 号

① **配本希望部数をご記入のうえFAXにてご連絡をお願いいたします。**
希望部数を優先して配本しておりますので、ぜひお申し込み下さい。
② **委託期間内返品可**　配本後到着の注文書は**注文扱い**にて出荷させて頂きます。
③ ★印の図書は特にご注目下さい。平積み頂ければ幸甚です。
④ 小局ホームページより、**「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。**

新刊委託

部数

法政大学出版局　**2025年4月10日配本**　定価2970円（本体2700円＋税）　四六判上製・176頁

ハインリヒ・ハイネ 著／今本幸平 訳

アルマンゾル

ISBN978-4-588-49041-5 C0097

★★　「本が焼かれるところでは、いずれ人も焼かれるのです」。ベルリンのベーベル広場にある、ナチス・ドイツの焚書追悼記念碑に刻まれたこの言葉は、ハイネの初期戯曲『アルマンゾル』に登場する台詞として知られる。15世紀末、レコンキスタ後のグラナダを舞台に、イスラム教徒の青年アルマンゾルと、キリスト教徒の恋人スレイマに生じた悲劇。1823年、高まりゆく反ユダヤ主義的空気のなかで書かれた重要作。**【海外文学】**

☆**関連書：ブラッドベリ『華氏451度』（ハヤカワ文庫）、フェルナンド・バエス『書物の破壊の世界史』（紀伊國屋書店）など。**

【別刷注文書あり】

再委託

部数

法政大学出版局　**2025年3月17日配本**　定価3960円（本体3600円＋税）　四六判上製・350頁

澤野雅樹 著

ミルトン・エリクソン　魔法使いの秘密の「ことば」〈新装版〉

ISBN978-4-588-18218-1 C0011

ミルトン・エリクソンは医療催眠と人の意表を突く処方で知られ、どれほど厄介な問題でも解決するその手腕は「魔法」とも呼ばれた。「いったい私は何をしたのでしょう？」彼が問いかけるこの言葉が成し遂げるものとは何か。言語と身体のつながり、文と心身のつながり、発話と情緒のつながり、そして、言語と人の生死とのつながり――彼の問いかけともに、伝統的な哲学や言語学の境界を超えて、新たな地平に踏み出す。**【心理・哲学】**

☆**関連書：ブルックス／クーエ『自己暗示』、ドゥルーズ＋ガタリ『カフカ』、サドッホ『セックス』（小局刊）。**

番線印　**重版決定!!**　部数

法政大学出版局　**2025年3月7日重版出来**　定価29700円（本体27000円＋税）A5判上製貼箱入・1042頁

E.M.シオラン 著／金井 裕 訳

カイエ　1957-1972

ISBN978-4-588-15045-6 C1010

既存の思想・神学体系と決別し、生の基本感情――悲しみ、嘆き、怒り、呪詛――の率直な表出によって歴史と文明に対峙した孤高の思想家の知られざる内面の記録。厖大な未発表ノートから成る本書は、「形而上の流謫者」としてのシオランが赤裸な感情を吐露した貴重な原典である。

【哲学・思想】

☆**関連書：シオラン『敗者の祈禱書』、『悪しき造物主』、『オマージュの試み』（小局刊）ほか。**

番線印　**重版決定!!**　部数

法政大学出版局　**2025年2月21日重版出来**　定価2310円（本体2100円＋税）　四六判上製・180頁

ジル・ドゥルーズ 著／檜垣立哉、小林卓也 訳　**《叢書・ウニベルシタス 1063》**

ベルクソニズム〈新訳〉

ISBN978-4-588-01063-7 C1310

哲学史家ドゥルーズの初期代表作。直観や持続、記憶の理論を精査し、差異と多様体の概念を創造することでその後のベルクソン解釈を完全に塗り替えるとともに、ドゥルーズ自身の哲学をも決定づけた古典。潜在性と現勢性とはいかなる関係にあり、持続の一元論とは何を意味するのか？　長く親しまれた『ベルクソンの哲学』（宇波彰氏訳）から40年以上を経て、刊行の新訳版。**【哲学・思想】**

☆**関連書：ドゥルーズ『シネマ1・2』、ローズ『生そのものの政治学』檜垣立哉監訳（いずれも小局刊）。**

番線印　**重版決定!!**　部数

法政大学出版局　**2025年2月7日重版出来**　定価3520円（本体3200円＋税）　四六判上製・318頁

ピーター＝ポール・フェルベーク 著／鈴木俊洋 訳　**《叢書・ウニベルシタス 1033》**

技術の道徳化　事物の道徳性を理解し設計する

ISBN978-4-588-01033-0 C1310

倫理を技術に対峙させることをやめて、我々は、技術との相互作用のなかで自分達の生を形成していくための語彙や実践を作り出さねばならない。技術の使用者である人間の道徳から、人間と機械の相互作用の中にある道徳へ。フーコー、ラトゥール、スローターダイクなどを駆使して、技術倫理と科学技術社会論（STS）を刷新する新しい《技術哲学》の誕生。**【哲学・思想】**

☆**関連書：ラトゥール『社会的なものを組み直す』、コリンズ『我々みんなが科学の専門家なのか？』（小局刊）。**

番線印　**重版決定!!**　部数

法政大学出版局　**2025年2月20日重版出来**　定価4400円（本体4000円＋税）　A5判上製・512頁

飯田泰三 著

近代日本思想史大概

ISBN978-4-588-62545-9 C1031

思想史とはすなわち時代精神の推移を見渡す仕事である。明治維新から自由民権運動、大正デモクラシー、戦争とファシズムの時代を経て戦後民主主義へ、福澤諭吉、中江兆民、高山樗牛、吉野作造らの著述を丹念に読み直し、近代化に向かう国家と思想の大きなうねりを捉えたかわさき市民アカデミーでの名講義を再現。丸山眞男の方法論を継承しつつ独自の社会・文明批評観をもって編み直す日本思想史。**【日本政治思想史】**

☆**関連書：**

ご担当者様 氏名：[　　　　　　　　　　] 担当ジャンル：[　　　　　] TEL：[　　　　　　　]

【お願い】
配本の際、ご担当者様の記名が必要となりました。
ご面倒とは存じますが、ご担当者様欄のご記入をお願い申し上げます。

Fax. 03-5214-5542

法政大学出版局　〒102-0073　東京都千代田区九段北 3-2-3
Tel. 03-5214-5540　E-mail: sales@h-up.com　URL: https://www.h-up.com/